

保護者 各位

平成31年3月吉日
ふたば保育園

アンケートについてのご返答

先日はアンケートにご協力いただき、たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。112世帯のうち56世帯の方に返答を頂きました。下記の内容で報告・回答をさせていただきます。

1. 来年度について

Q：新学期に用意する物のサイズ指定が細かい、わかりづらい。

A：持ち物についての見直しをした上で、手紙を配布します。また持ち物によってはサイズ指定が必要な場合もありますのでご協力をお願いします。

Q：送迎の決まりが厳しい

A：保育時間、延長保育については市の認定を元に作成させていただきましたので、そちらに記入して時間厳守をお願いします。

2. 病気、怪我の対応について

Q：熱が38度以上出た次の日は休みというのは、働くものとしては本当に困ります。次の日には元気になっていることもあるので。また病院に連れていくなら休んで下さい、病院に連れて行く事での遅刻や中抜けもだめというのも困る。

A：「子どもの体調の悪い時の対応」にも記載がありますが38度以上の熱がある時（前日夜の熱が38℃以上の場合は大事を取りましょう）として看護師からの指導として熱が出た場合は2泊3日の回復期間が必要とされていますので、次の日の登園については、お子様の様子で判断して下さい。また受診後の登園については受診した医師の判断を仰いだうえで登園をお願いします。

Q：怪我をした場合の電話対応について、内容を的確にポイントをついて伝えて欲しい。

A：怪我の電話対応についてもマニュアル化をし、どの保育士が対応しても的確にお伝えします。

Q：夕方16時～17時までの間に事故や怪我が多くなっているのではないかと。対策を考えていただきたい。

A：小さな怪我等は毎月ヒヤリハット報告を出し、考察し大きな事故や怪我につながらないようにしています。その都度子ども達の発達や様子を踏まえて、保育内容を検討していきます。

3. 行事について

A：遠足には下の乳児も連れていけるようにしてもらいたい。

Q：0,1歳児は基本的な生活習慣を重視していますので、参加はせず保育園で保育をさせていただきます。また育休中のご家庭に対しては、その都度検討させていただくか一時保育の利用もごございます。

Q：発表会についてですが、人数も増えているので文化センターなどで行うのはどうでしょうか？

A：発表会の場所については今後も保育園で行っていきます。また、皆さんからのご意見を元により良い環境で観ていただけるよう検討していきます。

Q：講演会のご案内で、欠席の人の名前・理由を書くのはおかしくないでしょうか？

A：子育て講演会については保育園の「同意書」の中に記載がありますので、欠席の際は理由を書いていただいています。

4. 登降園について

Q：登園時我が子がぐずって泣いてしまったり、離れたがっていない時は、助けに来てほしい。

A：お子様の受け入れについては、保護者の方がスムーズにお仕事に行っていただけるように受け入れ体勢を整えています。より一層細やかな対応を心がけていきます。

Q：登降園の際、門の鍵を開けっ放しにされる親の方もいらっしゃいます。子どもの安全策を改善してもらいたい。

A：門の鍵ですが2ヶ所に施錠をしています。保護者の方々にもご協力をいただき、お子様の安全を考えて開けたら必ず締めていただく事をお願いしたいと思います。

5. 園の環境について

Q：水筒が廊下に出ているのが気になります。中身が減っていないことが多い。

A：水筒については衛生面を考え乳児クラスは棚の上、幼児は各自のロッカーでの保管としました。水分補給への声かけも行っています。

Q：(口頭での質問) 絵本コーナーについてですが、いろいろな絵本を提供して欲しい。

A：月ごとの絵本を読んでもらいたいという思いからカーテンを閉めていましたが、来年度からカーテンを外すことにしました。それにあたり、皆さんに気持ちよく読んでいただくために「絵本コーナーの使い方」を表記させていただきます。

6. 保育士の対応について

Q：子どもの名前を呼ぶ際、家庭では呼ばない呼び方は控えて欲しい。

A：子どもの呼び方については「ちゃん」「くん」を徹底していきます。

Q：仕事内容、家庭の状況などそれぞれに違うと思うので、他の家庭と比べないでほしい。

A：個人情報については厳守の徹底をするとともに、個々の家庭状況にあった対応を心がけます。

Q：決まりごとが複雑でわかりにくい。園の考えている方針は方向性が伝わってこない。

A：園の方針は保護者総会や行事の時にお伝えさせていただいています。また一つ一つの決まりごとについてはご理解していただけるよう「ふたば保育園からのお願い」として手紙を配布しますので、読んでご確認ください。

Q：仕事と子育ての両立に悩んだり、仕事と保育園の間に挟まれて気持ちが沈んだりした時など困っている時は温かく受け入れて欲しい。

A：子どもや保護者に寄り添い、ひとりひとりに合わせての対応を今まで以上に心がけていきます。

Q：保育中の職員間の会話について

A：保育中の会話は個々の子どもの発達、共有していきたい内容での話をしていますので、無駄話として捉えないでください。

7. その他のご意見

- ・毎日子ども達と思い切り遊んでくれる先生方に信頼をおいています。子ども達が楽しく園生活を送っているのは先生方のおかげです。子どもへは愛情を持って接し、親にはコミュニケーションをとってくださればより良い園になると思います。
- ・普段から先生方には本当によくして頂いて感謝しています。子ども達も先生のことが大好きで家でもよく話をしてくれます。先生方はお仕事が本当に大変だと思いますが、これからもどうぞよろしくお願いします。
- ・子ども達にも保護者にも、だめな時はだめとはっきり言うてくれるので私は良いと思います。保育士に対して子どもの数が多い中、小さな変化にも気づいてくれるのでとてもありがたく感じています。
- ・保育士さんたちの言葉かけは見習うことは多く、とても助かっています。他のクラスの保育士さん達も子どもの名前を覚えてくれ、廊下などで会うと話しかけてくれるのがとても嬉しいです。

◎みなさんからの思いや、気持ちを受け止め、これからもお子様にとっても保護者様にとってもよりよい保育が出来るよう努めていきたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願い致します。